

1 研究開発プロジェクト名:

先行高齢化地域での医療・介護・生活情報の共有統合を目的とするICTサービス基盤プロジェクト

2 当該年度の研究開発プロジェクト実施予定期間:

2017年4月1日から2020年3月31日 / 4年計画の2年目

3 応募者

氏名	渡邊 幸広
所属機関	メディカル・データ・ビジョン株式会社
所属部局	さくらDB部
職名	Senior Manager

4 研究開発プロジェクトの概要

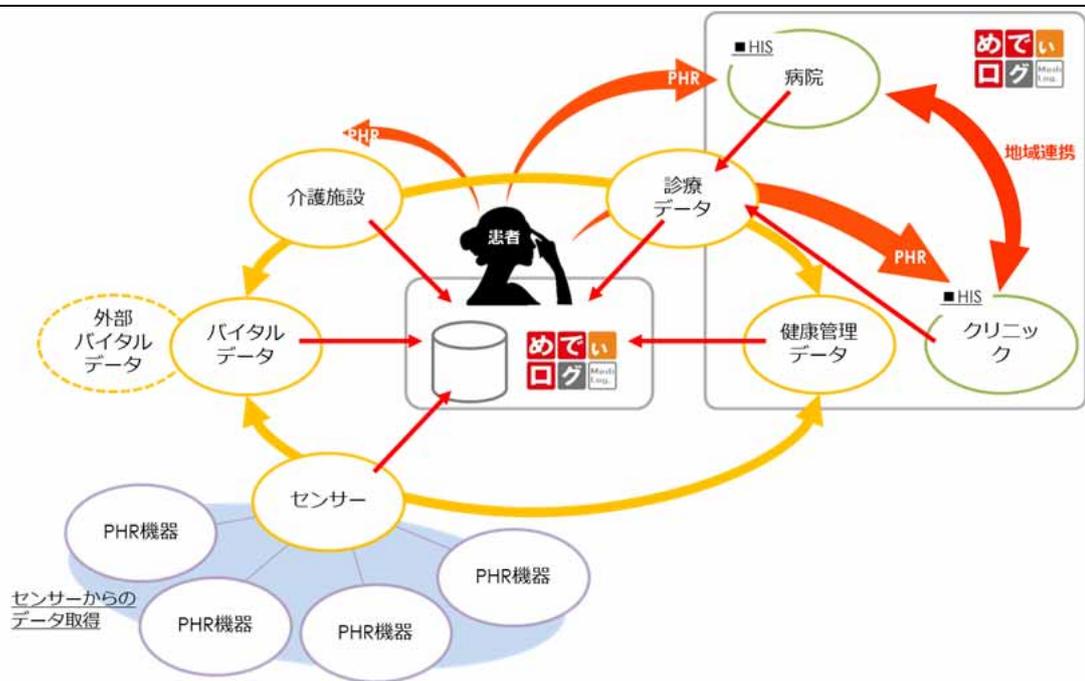
「先行高齢化地域での医療・介護・生活情報の共有統合を目的とするICTサービス基盤プロジェクト」では、患者の医療（診療情報）、介護（ケアプラン・介護サービス情報）、生活情報（携帯アプリ）等を一元的に統合し生涯管理する共通プラットフォーム「めでいログ」を研究開発します。プラットフォームに蓄積したデータは、利用者が端末から閲覧できる相手を選択しコントロールすることができます。

石川県七尾市では、人口が2015年5万4千人から2025年4万6千人（7千人）と減少する一方で、75歳以上の人口は2015年1万人から2025年1万1千人と上昇し75歳以上高齢化率は、2015年18%から2025年に24%、2035年には28%まで上昇すると推計されています。

先行して、高齢化が進む該当地域で地域住民の健康を守るために恵寿総合病院では、上記サービスを提供し、石川県七尾地域の住民に対して「生涯を通じた」医療・介護を地域で「連携」して提供し、施設中心の医療から生活中心の日常的なケアができる街づくりを行います。恵寿総合病院では、単なる地域住民の安心ばかりではなく、今後、増加する都市部の高齢者にとっても魅力てきな地域の構築を目指します。その結果、観光客に頼った地域活性化から、定住人口増加による地域活性化を目指せると考えます。

現在、病院や診療所など個々の機関内部では、電子化が進んでいますが患者が診療情報を電子データで直接受け取る仕組みが限定的で自身の健康情報を一元管理することが困難です。病院と病院をつなぐ地域連携システム数は増加傾向にあるものの、施設毎に接続する費用は多額の投資費用が必要となっています。その結果、介護施設やその他健康に関わる事業者から患者に関する情報を新たに加え連携することは難しい状況です。

「めでいログ」では、全ての情報を患者のプラットフォームに集め患者が端末から管理することで、限られた投資費用の中で患者情報を地域で共有します。



( 予定スケジュール )

1 年目 :

恵寿総合病院の電子カルテシステムから S S - M I X 2 に準拠した診療情報データを受け取り、自身の携帯端末等で表示し確認できる仕組みを構築します。  
 また、本プロジェクトの研究開発として、スマートデバイスから生活情報 (バイタルデータ等) を取込、一元管理できる仕組みを構築します。

2 年目 :

恵寿総合病院から取得した情報を、患者が同意した場合に限り診療所が閲覧できる患者中心の地域連携システムを提供します。

3 年目 :

蓄積した情報は、利用者の同意の基に医師や栄養士などの医療従事者の専用アプリで共有し、コミュニケーションの円滑に行える仕組みを研究開発します。また、本プロジェクトとして、診療情報と生活情報を融合したデータベース構築の研究開発に取り組みます。

4 年目以降 :

データ取得範囲の拡大を目指します。また、本プロジェクトとして、恵寿総合病院でのデータ取得範囲の拡大、介護に関わる情報、在宅医療に関わる情報の取得方法について研究開発します。統合したデータ蓄積したデータベース (以下、「DB」) を基に解析した情報を基に利用者に適した医療・健康サービス情報の提供を目標とします。